

2021(令和3)年度 伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(公益財団法人伊賀市文化都市協会)

(令和3年12月13日現在)

【基本方針1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出(施策の方向I 心の豊かさを目指して、II 文化芸術をすべての市民に)														
No.	事業名	開催日・会場等	プラン 基本方針	事業目的	R2 計画時	R2 実績	R3 計画時	R3 実績	R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R3 方向性	市総合計画 施策	まちづくりアンケート		
												R1	R2	R3
1	第40回新人演奏会inいが	4月4日⑩・伊賀市文化会館	1-I 1-II 3-I 3-II	多くの方々に披露することにより、出演者のよき励みとすると共に、当協会の文化まちづくり事業等への活動機会を提供し、地域の文化芸術振興の担い手となっていくことを目的とする。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(市民、地域、事業者、公益文化団体の事業カード提出はR3分から)	200人 1回 398,000円 650,000円	273人 1回 410,000円 661,000円	計画時より大きく上回る結果となった。昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策に絡んで中止したため、今回の演奏会を待ち望んでいた方が多く、参加者増に繋がった。	条件(共催等)が合えば継続	6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%
2	TAIRIKIプロデュース 古澤巖の品川カルテット Concert2021in伊賀	5月31日⑩・伊賀市文化会館	1-I 1-II 2-I 2-II	平日開催で且つ、アーティストとの共催、300名限定で生演奏を鑑賞いただくことを目的に開催。乳幼児入場可の「お昼のフリーコンサート(無料)」と併せ、幅広い年代に演奏を鑑賞いただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入		300人 2回 211,000円 356,000円	367人 2回 210,000円 374,000円	夜公演よりも昼公演の方が入場者が多かったのは意外だった。今後は夜の開催時間を検討する必要がある。					
3	三重から世界最高峰へ 小野田有紗with大阪交響楽団 ショパン国際コンクール出場記念演奏会	8月15日⑩・伊賀市文化会館	1-I 1-II 2-I 3-I 3-II	県内のコンテスタントを迎えるクラシックコンサートは今回初企画。市民・県民の皆様にクラシック音楽をより一層身近に感じていただき、更なる普及と地域の文化芸術振興を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入		300人 1回 4,650,000円 4,587,000円	395人 1回 4,578,000円 4,685,000円	当初の予定入場者数を上回った。文化庁によるコロナ関連補助金および企業からの特別協賛金を得て開催にこぎつけた。					
【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充(施策の方向I 子どもたちの心を豊かに、II 成長に即した文化芸術の提供)														
4	ぶんとキッズ・アカデミー 目指せアーティスト番外編	7月10日④・伊賀市文化会館	1-I 1-II 2-I 2-II 3-II	子どもたちがジャンルの異なる講座を体験し、芸術に触れる時間を提供する。これによって、芸術を身近に感じて心豊かになり、同時に文化芸術への興味と理解が高まると考える。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(同上)	80人 4種×3回 800,000円 80,000円	120人 4種×3回 492,100円 120,000円	毎年人気の講座となっているが、申込者が多いため、受付方法を検討する必要がある。	継続	6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%
【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ(施策の方向I 人づくりとまちづくり、II 多様な人材活用による文化芸術の振興)														
【基本方針4】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備(施策の方向I 施設の管理と機能の発揮、II 施設の保存と有効活用)														
5	ローズウィンドウの世界 ~重ね色が生み出す中世の光~	4月23日⑤~25日⑩・入交家住宅	1-I 1-II 2-I 4-I 6-I	入交家住宅の庭には色とりどりの牡丹が植えられている。その牡丹が満開になる季節に合わせてイベントを企画し、施設の認知度を高める。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(同上)	100人 1回(3日間) 153,000円 10,000円	673人 1日(3日間) 190,759円 30,000円	コロナ禍ではあったが、牡丹とローズウィンドウの相乗効果で予想以上の達成度だと思う。しかし、牡丹の開花は陽気によって変わってくるため日程調整が難しかった。	他事業と組み合わせる	6-4 歴史・文化遺産	満足度	58.8%	67.2%
6	うろうどう寄席 Vol.24 Vol.25	5月8日④と10月3日⑩・史跡旧崇広堂	1-I 1-II 4-I 4-II	我が国独特の芸能である落語を身近な距離で鑑賞することにより落語独特の仕草や表情など、生の芸を楽しんでいただき、落語ファンの定着を目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入		各回70人 2回 408,000円 90,000円	66人と35人 2回 266,000円 52,000円	2回目(Vol.25)は非常事態宣言解除の直後のため来場への敬遠傾向が強いと感じた。					
7	光のART展VII	4月29日⑥~5月6日⑩・史跡旧崇広堂	1-I 1-II 4-I 4-II 6-I	歴史情緒あふれる旧藩校の和の空間を活用し、ステンドグラス、陶磁器などの作品が光と陰で彩られたアート空間を楽しんでいただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入		1,000人 1回(8日間) 961,000円 0円	600人 1回(8日間) 935,000円 10,000円	コロナの情勢が流動的であり、来場者が大きく減ったことから、来年度の情勢を注視する必要がある。					
8	倉貫徹×谷本貴二人展 石と陶	6月18日⑤~27日⑩・史跡旧崇広堂	3-II 4-I 4-II 6-I 6-II	「石」と「陶」、それぞれ異なるモチーフをもとに取り組み2人のアーティストのコラボ展とし、2つの素材が織り成す芸術表現を来場者に観ていただく。	参加者数 開催数 開催経費 収入	500人 1回(10日間) 218,000円 80,000円	350人 1回(10日間) 350,000円 20,000円	会期中、天候に恵まれず、コロナの影響もあって思うほど来場者が伸びなかった。						
9	GLASS ART EXHIBITION	10月8日⑤~17日⑩・史跡旧崇広堂	1-I 1-II 2-II 4-II 6-I 6-II	全国で活躍するガラス作家の協力を得て、巧みな造形作品を展示することにより、地域住民の文化芸術に対する関心を広げ、振興を図る。	参加者数 開催数 開催経費 収入	800人 1回(10日間) 178,000円 30,000円	732人 1回(10日間) 143,974円 28,819円	コロナの影響もあり、来場者は目標に達しなかったが、毎年開催することでガラスという「新しい芸術」に対する市民の関心は高まっている。	継続					
【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造(施策の方向I 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、II 新しい文化芸術の創造)														
10	伊賀流忍者衆羅威堂五周年記念公演 伊賀に吹く風	8月22日⑩・青山ホール	1-I 2-I 3-I 3-II 5-I	伊賀を拠点に活動している伊賀之忍者衆「羅威堂」の公演を通して、若い人が忍者に興味を持つ契機となり、伝統ある伊賀流忍者への関心を継続していくことができる。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(同上)	400人 2回 218,000円 60,000円	281人 2回 177,215円 69,050円	開催当日は「まん延防止等重点措置」が発出されており、目標まで入場者数が増えなかった。しかし、来場者の反応・感動は大きかった。	継続の要なし	6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%
11	伊賀陶芸会伊賀華道協会コラボ企画展 陶活きて花映える	11月5日⑤~7日⑩・伊賀市文化会館	1-I 2-I 4-II 5-I 5-II 7-I	陶と花がそれぞれの対象によって存在感や魅力高め合い、芸術性を実感できる創造空間づくりを目指す。	参加者数 開催数 開催経費 収入		500人 1回(3日間) 206,000円 30,000円	415人 1回(3日間) 集計中 集計中	開催までに両会の作品制作に対する思惑の違いを調整することに苦心した。					
【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信(施策の方向I 文化をツールとした地域活性化、II 都市の文化的な顔づくり)														
12	安心の事前講習！一泊二日の女子ソロキャンプ体験会	11月13日④~14日⑩・岩倉峡公園キャンプ場	1-II 4-II 6-I 7-II	特に抵抗感が高いと思われる女性を対象に、安心してソロキャンプを楽しんでもらい、男女問わず多くの人に伊賀の自然に触れる機会を提供するため。	参加者数 開催数 開催経費 収入	(同上)	20 1回(2日間) 86,000円 90,000円	19 1回(2日間) 151,563円 106,150円	初めて開催する事業でオンラインによる講習、準備等に手間取るところもあったが、参加者からは次回の開催を期待する声が多く寄せられた。	継続	4-1 都市政策	満足度	15.1%	35.3%
【基本方針7】文化芸術を通じた社会的課題への取り組み(施策の方向I 社会参加のきっかけづくり、II 協働の場の創造)														